

問題・解答
用紙番号

50

の解答用紙に解答しなさい。

世 界 史

〈受験学部・学科〉

法学部、外国語学部、経済学部、経営学部、
農学部【文系科目型】(食農ビジネス学科)

問題は100点満点で作成しています。

I 次の文を読み、あとの設問に答えよ。(40点)

アメリカ大陸の名称は、南アメリカを探検して、この大陸がアジアとは別の大陸であることを明らかにしたフィレンツェ出身の (1) の名に由来する。しかし、アメリカ大陸を征服し、植民地化したのは、1492年以降、コンキスタドールと呼ばれる「征服者」をおくりこんだスペインであった。スペインはアジア航路開拓のためにジェノヴァの船乗りコロンブスを派遣した。コロンブスは大西洋を横断し、アメリカ大陸に到達した。

(a) 当時のアメリカ大陸では、アステカ王国と ^(b)インカ帝国が最盛期をむかえていたが、それらはスペイン人「征服者」によって滅ぼされることになった。1521年にコルテスがアステカ王国の首都 テノチティトラン を占領し、アステカ王国を滅ぼした。33年にはピサロがインカ帝国を滅ぼし、^①首都 クスコ を破壊し、新たな首都としてリマを建設した。スペイン人による征服は現在のアメリカ合衆国南西部から南アメリカ大陸の南端にまでおよび、ポルトガル領ブラジルを除いて、スペインは広大な植民地を獲得した。

アメリカ大陸のスペイン植民地では、征服した土地と先住民に対する支配をスペイン人入植者に委託する (2) 制が導入された。これによって先住民は大農園や鉱山などで酷使された。またヨーロッパからもたらされた天然痘・はしか・ペストなどの伝染病により、先住民の人口は激減した。(3) らの良心的な聖職者たちの努力により、スペイン本国は先住民の奴隷化を禁止したが、それにかわる労働力としてアフリカから多くの奴隷が連れてこられる結果となった。

17世紀には現在のアメリカ合衆国の東部から南東部にかけて、イギリス人の入植がすすんだ。17世紀初頭にイギリスはヴァージニア植民地をひらき、1620年にはイギリス本国での迫害から逃

れてきたピルグリム=ファーザーズと呼ばれるピューリタンの一団が東部に移住し、(4) 植民地の基礎をつくった。そうして、18世紀前半までに北アメリカ大陸の東海岸に13の植民地が形成された。

北アメリカ大陸のイギリス植民地では、1619年にヴァージニアで最初の植民地議会が開設されるなど自治制度がつくられた。また、はやくから大学の設立や新聞の発行もおこなわれるなど市民意識の成長もみられた。また北部と南部のあいだには産業や労働形態の違いやイギリス本国に対する感情の差がみられた。北部では自営農民や自営の商工業者が多く、とくに信仰の自由を求めて移住したピューリタンが多かった(4) 植民地では、イギリス本国への批判意識が強かった。それに対して、南部では奴隷を使用したタバコや米を栽培するプランテーション経営が拡大し、輸出先であるイギリスとの経済的結びつきも強かった。

18世紀に北アメリカでフレンチ=インディアン戦争をひきおこした、^(c)イギリスとフランスは、ヨーロッパでは並行して(5) 戦争をたたかっていた。(5) 戦争は1763年にパリ条約で終結し、勝利したイギリスはフランスからカナダやミシシッピ川以東のルイジアナなどを獲得した。しかし、長引く戦争により多額の負債をかかえたイギリス本国は、財政赤字を軽減するために植民地への課税と統治の強化をはかった。これに植民地側は不満を強め、65年の(6) 法の制定に対しては「代表なくして課税なし」と主張し、これを撤廃させた。73年には本国が茶法を定めて茶の独占販売権を東インド会社に与えたため、ボストン茶会事件がおこった。それに対して、本国政府はボストン港を封鎖するなど制裁措置をとった。

植民地側は1774年、第1回大陸会議を開いて本国に自治の尊重を要求した。しかし、75年には(7) とコンコードにおいてイギリス本国の軍隊と植民地側民兵の武力衝突がおこり、^(d)アメリカ独立戦争が始まった。76年7月4日には、13植民地の代表が^③フィラデルフィアで独立宣言を^(e)発表した。独立軍は当初苦戦したが、ヨーロッパからの^(e)義勇兵の参加やイギリスと対立していたフランスやスペインの参戦によって、しだいに優勢となった。米仏連合軍は、81年の(8) の戦いでイギリス軍を破り、83年のパリ条約でイギリスはアメリカ合衆国の独立を承認した。

問1. 空欄 (1) ~ (8) にもっとも適切な語を記入せよ。

問2. 下線部(a)~(e)について、以下の問いに答えよ。

- (a) コロンブスは、大西洋を西に向かう方が「インド」への近道であるとの説を信じた。この説をとねた人物は誰か。正しいものを一つ選べ。
- ㉠ スピノザ
 - ㉡ トスカネリ
 - ㉢ ガリレオ=ガリレイ
 - ㉣ コペルニクス
- (b) この帝国に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。
- ㉠ 文字をもち、縄をもちいて情報伝達をおこなっていた。
 - ㉡ 二十進法による数の表記法や精密な暦法が発達していた。
 - ㉢ 山岳地帯で農業をおこなうためのすぐれた灌漑技術を有していた。
 - ㉣ 太陽を崇拜し、皇帝は太陽の化身とされていた。
- (c) 18世紀のヨーロッパにおいてイギリスとフランスがかかわった戦争は何か。正しいものを一つ選べ。
- ㉠ 三十年戦争
 - ㉡ ユグノー戦争
 - ㉢ 百年戦争
 - ㉣ オーストリア継承戦争
- (d) この戦争のさなかに大きな反響を呼んだ『コモン=センス』を著した人物は誰か。正しいものを一つ選べ。
- ㉠ ジェファソン
 - ㉡ トマス=ペイン
 - ㉢ ラ=ファイエット
 - ㉣ ワシントン
- (e) このとき義勇兵として参加したポーランド人は誰か。正しいものを一つ選べ。
- ㉠ コシチューシコ (コシチューシコ)
 - ㉡ イェルマーク
 - ㉢ プガチョフ
 - ㉣ ゴムウカ (ゴムルカ)

問3. 二重下線部①～③の位置はどこか。地図上の記号ア～コから正しいもの一つ選べ。



Ⅱ 次の文を読み、あとの設問に答えよ。(30点)

1937年7月の (1) 事件をきっかけに、日本の軍部は中国での軍事行動を拡大し、日中両国は宣戦布告のないまま全面戦争に突入した。中国側は、第2次 (2) をもとに、^(a)抗日民族統一戦線を結成し、抗日戦を展開したが、日本軍は同年12月に首都 (3) を占領し、多数の捕虜や市民を殺害した。蒋介石率いる国民政府は、アメリカ・イギリス・ソヴィエト社会主義共和国連邦(ソ連)の援助を受け、首都を重慶に移して抗戦を続けた。中国共産党はゲリラ戦を展開しつつ、根拠地拡大をめざした。他方、日本統治下にあった朝鮮や台湾では、日中戦争を契機として皇民化政策が展開され、とくに朝鮮では日本の家制度を強要する創氏改名がおこなわれた。

1941年12月、日本とアメリカ・イギリスが戦争状態に入ると、中国はアメリカ・イギリスとともに日本に宣戦布告した。43年11月、蒋介石はアメリカのローズヴェルト、イギリスの (4) とのカイロ会談で日本の戦後処理を話し合い、45年7月には日本に無条件降伏を求める (5) 宣言がアメリカ・イギリス・中国の3カ国の名前によって発表された。同年8月、日本はこれを受諾して、第二次世界大戦は連合国の勝利に終わった。これに先立って4～6月には、 (6) 会議で国際連合憲章が採択され、10月に51カ国を原加盟国として国際連合が成立した。

戦後の中国は5大国の一員としての地位を認められたが、国内では国民党と共産党の衝突が再燃した。蒋介石らの国民政府は (3) に戻って、1947年には中華民国憲法を公布した一方で、経済政策の失敗による急激な物価高騰などから、政権に対する社会の不満は高まった。他方、共産党はソ連の支援を得るとともに、^(b)農村を掌握して支持を集め、国民党との内戦に勝利した。49年9月、共産党は諸党派を^(c)北京に集め、人民政治協商会議を開催した。10月に毛沢東を主席とし、 (7) を首相とする中華人民共和国が建国された。敗れた蒋介石は台湾に逃れ、そこで中華民国政府を維持した。

他方、戦後の^(d)朝鮮半島には、北緯 (8) 度線を境に、北にソ連軍、南にアメリカ軍が進駐した。1948年、南部では (9) を大統領とする大韓民国(韓国)が、北部では (10) を首相とする朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が成立した。北朝鮮は50年、統一をめざして韓国に進攻し、朝鮮戦争が始まった。国連安全保障理事会は北朝鮮軍の行動を侵略と認め、^(e)アメリカ軍を中心とする国連軍が韓国の支援に向かった。これに対し、中国は北朝鮮を支援して人民義勇軍を派遣し、戦線は膠着状態におちいった。53年に休戦協定が成立し、現在も続く南北の分断が固定化されていった。

問1. 空欄 (1) ～ (10) にもっとも適切な語を記入せよ。

問2. 下線部(a)～(e)について、以下の問いに答えよ。

(a) 抗日民族統一戦線結成のきっかけとなる西安事件をおこした人物は誰か。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 袁世凱 ㊧ 汪兆銘 ㊨ 張学良 ㊩ 張作霖

(b) 共産党が農村を掌握するためにおこなったことは何か。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ 長征 ㊧ 洋務運動 ㊨ 土地改革 ㊩ 北伐

(c) 北京に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㊦ 孫文はこの地で臨時大総統に選出され、中華民国の建国を宣言した。
㊧ この地の郊外に建設された円明園は、アロー戦争の際に英仏軍に略奪・破壊された。
㊨ 明の永楽帝はこの地に都を移し、紫禁城を築いた。
㊩ フビライはこの地に都を定め、国名を中国風に元とした。

(d) 朝鮮半島の文化に関する説明のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ㊦ 科挙によって官僚を輩出した両班と呼ばれる支配層は、儒教の儀礼と学問の担い手となった。
㊧ 高句麗の広開土王のときに、訓民正音（ハングル）が制定された。
㊨ 高麗では、独自の技法を用いた高麗青磁や仏教経典を集成した『大蔵経』がつくられた。
㊩ 新羅では仏教が保護され、首都の金城（慶州）には仏国寺が建立された。

(e) このときのアメリカ合衆国大統領は誰か。正しいものを一つ選べ。

- ㊦ ケネディ ㊧ ジョンソン ㊨ トルーマン ㊩ ニクソン

Ⅲ 世界の宗教に関する次の文章(1)～(5)には、下線部が正しいものと正しくないものがある。正しいものについては㉗を、正しくないものについては㉘～㉛からもっとも適切なものを選び。

(30点)

(1) 前3000年頃のメソポタミアでは、「大きな家」の意をもつファラオと称される王による統一国家が成立した。ファラオは、多神教のなかの主神である太陽神ラーの子として超越した権力を持ち、神官・高官・一般民衆のうえに君臨した。

㉘ エジプト ㉙ ギリシア ㉚ シリア ㉛ パレスチナ

(2) 『リグ=ヴェーダ』は前1000年頃までに成立したと推定される文献で、自然現象を崇拝したアラム人の神々への讃歌を集めたものである。ほかの3つのヴェーダとともに、バラモン教の根本聖典となった。

㉘ アッカド ㉙ アーリヤ ㉚ シュメール ㉛ フェニキア

(3) 古代ペルシア発祥のシク教は、善悪二元論に基づき、世界を光明の善神アフラ=マズダと暗黒の悪神アーリマンとの闘争の場にとらえ、最後の審判によって善き人々の靈魂は天国に導かれると説いた。光や火の崇拝を重視したため、拝火教とも呼ばれる。

㉘ イスラーム ㉙ ゴロアスター ㉚ マニ ㉛ ミトラ (ミトラス)

(4) ヘブライ人はバビロン捕囚から解放されると、ニネヴェに唯一神ヤハウエ (ヤーヴェ) をまつる神殿を再興し、ユダヤ教の聖地とした。神殿の一部は「嘆きの壁」として現在も残っている。ユダヤ教の教典は『旧約聖書』であり、選民思想や救世主 (メシア) 信仰などを特色とする。

㉘ イエルサレム ㉙ ダマスクス ㉚ テーベ ㉛ バビロン

(5) ジャイナ教はヴァルダマーナ (マハーヴィーラ)によって創始された。同教は人生を苦と考え、禁欲・苦行を説いて、徹底した不殺生主義をとり、きびしい戒律を重視した。

㉘ ガウタマ=シッダールタ ㉙ チャンドラグプタ
㉚ ツォンカパ ㉛ ナーナク

(6) 4世紀に入るとマウリヤ朝がおこり、インド北部の広い地域をその支配下においた。この王朝期にはヴィシュヌ神やシヴァ神を中心とするヒンドゥー教が確立するとともに、インド古典文化の黄金時代が訪れ、サンスクリット文学や純インド風美術が発達した。

- ① ガズナ ㊦ グプタ ㊧ チョーラ ㊨ ブワイフ

(7) 313年、テオドシウス帝はミラノ勅令を發布して、それまで迫害されてきたキリスト教徒にも改めて信教の自由を保障するなど、親キリスト教的な姿勢を鮮明にした。この皇帝のもとで教会は発展をとげ、ローマをはじめ各地に大規模な教会堂が建設された。

- ① コンスタンティヌス ㊦ デイオクレティアヌス
② トラヤヌス ㊧ ユリアヌス

(8) 431年のエフェソス公会議で、キリストの神性と人性とを分離して考えるネストリウス派は異端と宣告された。ネストリウス派はササン朝ペルシアを経て東へと伝播し、唐代の中国に伝わり、祆教^{けんきょう}と呼ばれるようになった。

- ① 回教 ㊦ 景教 ㊧ 全真教 ㊨ 白蓮教

(9) チベットでは、7世紀にチンギス=ハンがチベット諸族を統一して吐蕃を建国した。吐蕃では唐・インド両文化が積極的に取り入れられ、チベット文字の制定などがおこなわれた。また、インド仏教とチベットの民間信仰が融合したチベット仏教（ラマ教）が確立した。

- ① ソンツェン=ガンポ ㊦ ハイドゥ
② 耶律阿保機 ㊧ 完顔阿骨打

(10) イスラーム教の聖典『コーラン（クルアーン）』は、預言者ムハンマドにくだされた神のこぼの集成であり、アラビア語で記されている。同言語はその後のイスラーム教の拡大につれて世界に広まった。

- ① ウルドゥー ㊦ ヒンディー ㊧ ペルシア ㊨ ラテン

(11) 8～9世紀頃、ジャワ島中部で栄えたアンコール朝は、大乘仏教を重んじ、ボロブドゥール寺院を造営したことで知られる。この寺院は方形壇と円形壇がピラミッド状に重なっており、回廊には仏典の内容をあらわす多数の浮彫がみられる。

- ① カラ=ハン ㊦ ゴール ㊧ シャイレンドラ ㊨ パガン

(12) 726年、ビザンツ帝国において皇帝ユスティニアヌスは聖像崇拜禁止令を發布した。これによって、聖像による伝道につとめていたローマ教会との対立が深まり、教会の東西分裂は決定的になった。

- ① インノケンティウス3世 ㊦ グレゴリウス7世
② ヘラクレイオス1世 ㊧ レオン3世

(13) 西アフリカにおいては、11世紀以後イスラーム化が進行した。13世紀にはガーナ王国がイスラーム教を受け入れ、14世紀には最盛期をむかえた。この王国は「黄金の国」としてエジプトなどでも知られ、ニジェール川流域の都市トンプクトゥを中心に、北アフリカとの交易やメッカ巡礼の経由地として繁栄した。

- ① アクスム ㊦ クシュ ㊧ マリ ㊨ モノモタパ

(14) アルハンブラ宮殿は、イベリア半島のイスラーム王朝であるガズナ朝によって13世紀半ばに建造が開始された。1492年、キリスト教徒のレコンキスタ（国土回復運動）により都グラナダは陥落したが、アラベスク文様で装飾されたその宮殿は、西方イスラーム世界の代表的な建築としてその美しさを今日に伝えている。

- ① デリー=スルタン ㊦ ナスル ㊧ ムワッヒド ㊨ ムラービト

(15) 東南アジアにおけるイスラーム化の重要な契機となったのは、マレー半島西南にたてられたワッハーブ王国が15世紀にイスラーム教を受容したことである。その後、イスラーム教は交易ルートに乗ってジャワやフィリピンへと広まり、ジャワでは16世紀にイスラーム教の王国が成立した。

- ① アチェ ㊦ ソンガイ ㊧ マタラム ㊨ マラッカ